

44 林業・木材産業国際競争力強化総合対策＜一部公共＞

【令和6年度補正予算額 45,853百万円】

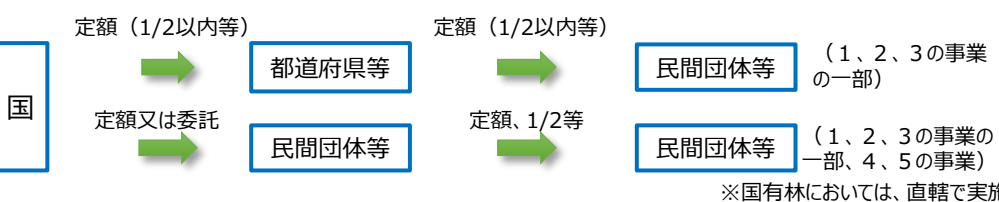
＜対策のポイント＞
林業・木材産業の体質強化や国内需要の拡大に向けて、**原木・木材製品等の生産体制の強化、林業イノベーションの推進、非住宅分野等における木材製品の消費拡大、日本産木材製品等の輸出拡大、林業の担い手の育成・確保等**を支援します。

＜事業目標＞
国産材の供給・利用量の増加（34百万m³〔令和5年〕→ 42百万m³〔令和12年まで〕）

＜事業の内容＞

- 1. **林業・木材産業の生産基盤強化＜一部公共＞**
路網整備、高性能林業機械の導入、再造林の低コスト化、木材加工流通施設の整備等を支援します。
- 2. **林業のデジタル化・イノベーションの推進**
森林資源情報のデジタル化を支援するとともに、**林業機械の自動化・遠隔操作化技術、木質系新素材の開発・実証**を支援します。
- 3. **建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策）**
JAS構造材の建築物への利用実証や供給体制構築、CLTを用いた非住宅建築物の実証、木造公共建築物の整備等を支援します。
- 4. **木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策）**
日本産木材製品のプロモーション活動、輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品・技術開発や性能検証、特用林産物の輸出に向けた課題解決の取組を支援します。
- 5. **林業の担い手の育成・確保**
新規就業者への体系的な研修、労働安全衛生装備・装置の導入等を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

林業・木材産業の生産基盤強化 - 木材製品の国際競争力の強化に向けた合板・製材・集成材工場等の大規模・高効率化、低コスト化、高付加価値化等のための木材加工流通施設の整備 - 原木の低コストかつ安定的な供給のための路網整備、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施 等   木材加工施設の整備 路網の整備	林業のデジタル化・イノベーションの推進 - 路網整備や施業集約化を省力化・効率化する森林資源情報のデジタル化 - 林業の安全性・生産性の向上に資する林業機械の自動化・遠隔操作化技術の開発・実証 等  伐倒の遠隔操作化	建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策） 非住宅分野等における木材製品の消費拡大に向けた - JAS構造材の実証的な活用 - CLTを活用した設計・建築等の実証 - 木造公共建築物の整備 等  CLTを活用した設計・建築実証
木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策） - ターゲット国の市場実態等の調査・分析 - 日本産木材製品の認知度向上 - 付加価値の高い木材製品の輸出促進に向けた輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品開発・性能検証 等  輸出先国の規格・基準に対応した性能検査	林業の担い手の育成・確保 - 新規就業者が効率的な技術等を習得するための体系的な研修 - 労働安全衛生装備・装置の導入 等  労働安全研修	

【お問い合わせ先】 林野庁計画課 （03-6744-2082）